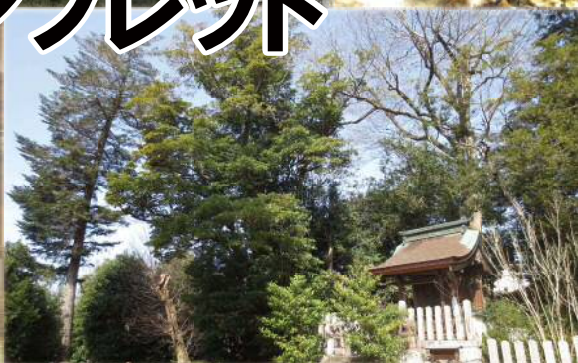
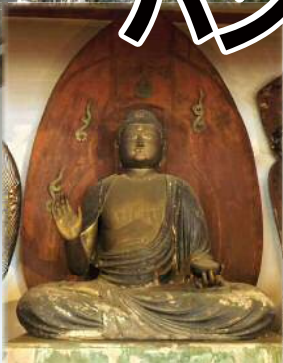




2020年度

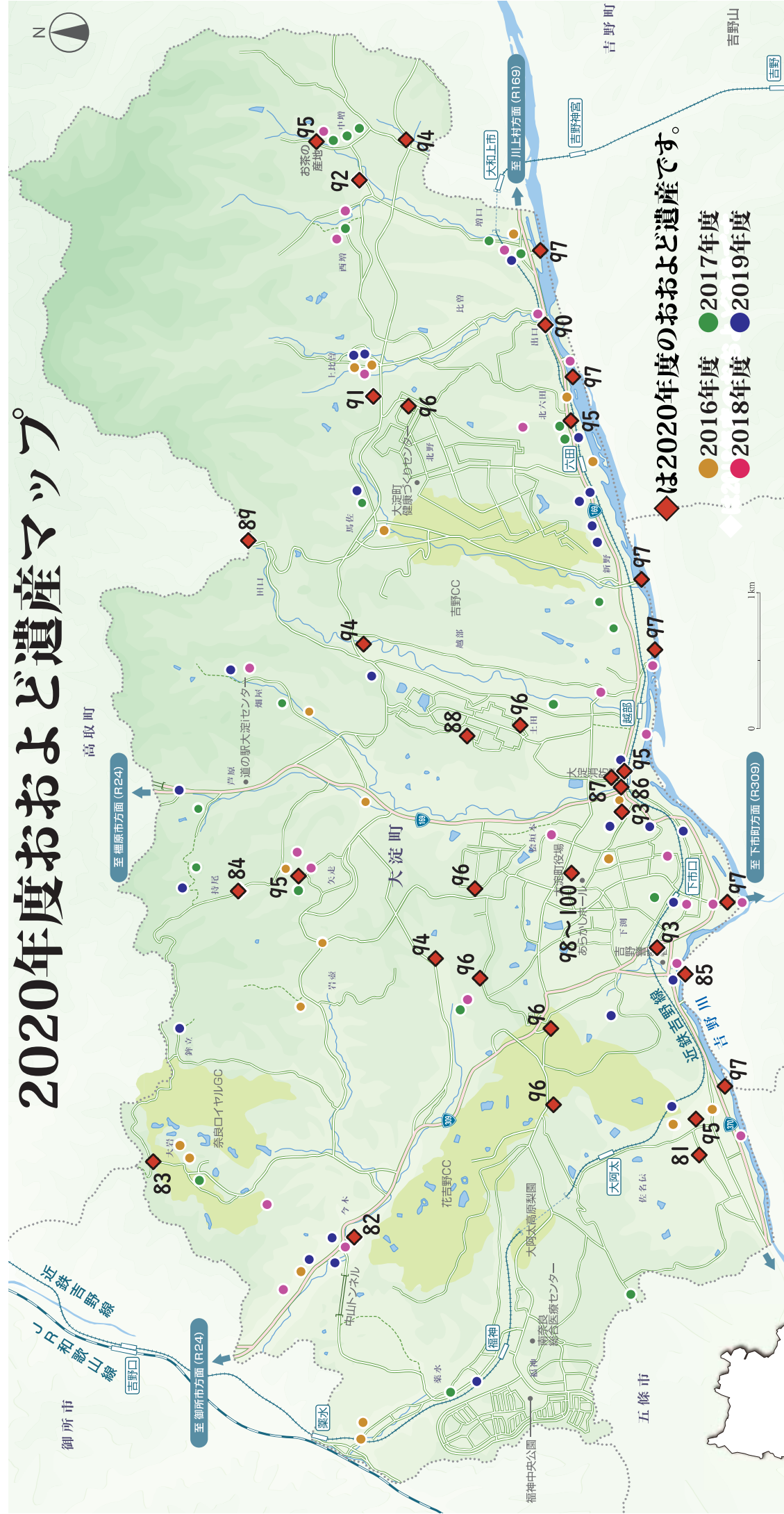
おおよど遺産

パンフレット



奈良県大淀町

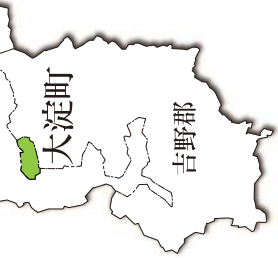
2020年度おおよど遺産マップ



◆は2020年度のおおよど遺産です。

- 2016年度 ● 2017年度
- 2018年度 ● 2019年度

No.	名称	No.	名称	No.	名称
81	佛眼寺	88	山の神と平城神社	95	教育者の記念碑
82	泉徳寺	89	安産の滝	96	吉野群山
83	大岩古墳群	90	出口地藏堂の地獄絵図	97	吉野川
84	ウルシの古木	91	六斎念仏講衆の石塔	98	町史編纂の記録
85	鈴ヶ森	92	日章旗	99	みんなで大淀おどり
86	お俊・伝兵衛の石碑	93	交差点の道標	100	大淀町章
87	土田八幡神社の樹叢	94	農村の原風景		No.81~100は2020年のおおよど遺産です。



奈良県地図

2020年度おおよど遺産リスト

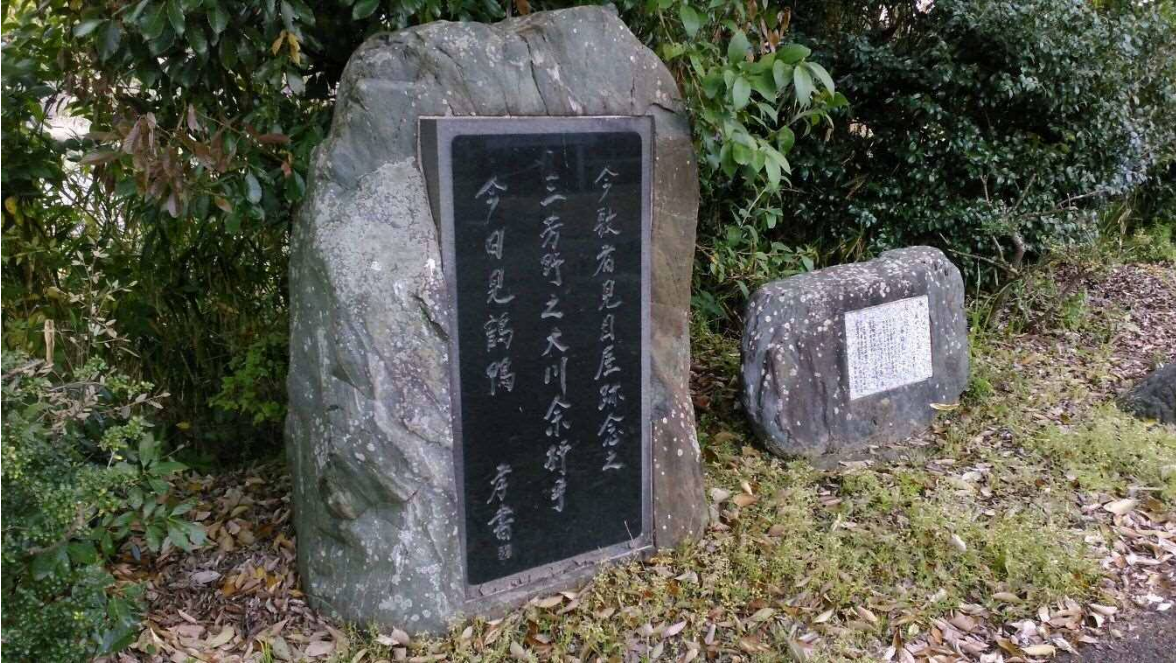
No.	名 称	分 類	地 域	選定年月日	備 考
81	大陸風のまなざしで 佛眼寺	名所遺産	佐名伝	2021年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
82	葛城と大峯をつなぐ 泉徳寺	名所遺産	今木	2021年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
83	地名の由来は大きな岩 大岩古墳群	名所遺産	大岩	2021年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
84	見上げれば、石垣の上に ウルシの古木	自然遺産	持尾	2021年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
85	万葉歌と「大淀」のルーツ 鈴ヶ森	名所遺産	下淵	2021年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
86	物語の主人公を偲んで お俊・伝兵衛の石碑	もの遺産	桧垣本	2021年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
87	縄文の海の記憶 土田八幡神社の樹叢	自然遺産	土田	2021年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
88	まちづくりの原点 山の神と平城神社	名所遺産	土田（南大和）	2021年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
89	川沿いの古道をたどって 安産の滝	名所遺産	越部	2021年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
90	冥界ワンダーランド 出口地藏堂の地獄絵図	民俗遺産	比曾	2021年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
91	祈りを刻んで400年 六斎念仏講衆の石塔	民俗遺産	比曾	2021年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
92	インパールからの帰還 日章旗	近現代遺産	中増	2021年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
93	旅人たちの思い出をつなぐ 交差点の道標	もの遺産	大淀町内各地	2021年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
94	おおよどは吉野一の米所 農村の原風景	景観遺産	大淀町内各地	2021年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
95	先生どうもありがとう！ 教育者たちの記念碑	近現代遺産	大淀町内各地	2021年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
96	変わらない風景のなかに 吉野群山	景観遺産	大淀町内各地	2021年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
97	四季折々の彩り 吉野川	景観遺産	大淀町内各地	2021年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
98	『大淀町史』をつくる 町史編纂の記録	近現代遺産	大淀町内各地	2021年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
99	オールスターが大集合 みんなで大淀おどり	わざ遺産	大淀町内各地	2021年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
100	おおよどのシンボルマーク 大淀町章	近現代遺産	大淀町	2021年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分

① 分類	名所遺産	② 地域	大淀町大字佐名伝
③ 名称			
<p>たいりくふう 大陸風のまなざしで</p> <p>ぶつげんじ 佛眼寺</p>			
④ 説明			
<p>佐名伝地区の佛眼寺（浄土宗）は、元禄年間（1688～1704）の史料（「蓮門精舎旧詞」）によると、永禄13年（元亀元年・1570）6月1日、宇智郡大阿太村佐名伝・光誉上人開基とされています。本尊は釈迦如来と伝承されてきましたが、実は左手に薬壺（やっこ）をもつ薬師如来です（高さ50.5cm）。室町時代の制作と考えられ、全体の表現は大陸風（中国・宋様式）の特徴を示しています。この仏は「大陸風のまなざし」で、いつの世も地域の人々を見守ってくれています。</p>			
⑤ 写真			
 <p data-bbox="584 1843 1010 1877">佛眼寺の本尊・木造薬師如来坐像</p>			
⑥ 連絡先	佛眼寺		


① 分類	名所遺産	② 地域	大淀町大字今木
③ 名称			
<p>かつらぎ おおみね せんとくじ 葛城と大峯をつなぐ 泉徳寺</p>			
④ 説明			
<p>今木地区には、廃絶した「今木寺」の法灯を受け継ぐ、真言宗の泉徳寺があります。現本堂は昭和 50 年（1975）に整備されたもので、旧本堂（薬師堂）は東側の山中、明暦 2 年（1656）作の金剛力士像（阿形・吽形）を配する山門を上がったところにありました。泉徳寺は、修験者たちの聖地、葛城山と吉野・大峯をつなぐ参詣道（現・国道 309 号線）の中継点であり、平安時代後期作の本尊・木造薬師如来坐像（高さ 83cm）も、大峯山から移されたとの伝承があります。</p>			
⑤ 写真			
<p>泉徳寺山門の木造金剛力士像・阿形（左） 泉徳寺の本尊・木造薬師如来坐像（右）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
⑥ 連絡先	泉徳寺・町教育委員会		

① 分類	名所遺産	② 地域	大淀町大字大岩
③ 名称			
<p>ちめい ゆらい おお いわ おおいわ こふんぐん 地名の由来は大きな岩 大岩古墳群</p>			
④ 説明			
<p>大岩地区では、ゴルフ場の開発にともない発掘調査がおこなわれており、6・7世紀の横穴式石室をもつ大岩古墳群の存在が知られています。その石室に使われた巨石は、付近の山中から運ばれたもので、大岩の地名の由来になったと考えられています。これらの古墳群のうち、石神古墳（大岩1号墳）・大岩2号墳は奈良県史跡として現地保存。大岩3号墳（吉野川の板石を組み合わせた石棺）は大岩大日堂のそばに移設され、いつでも見学できるよう地元の皆さんが守り伝えています。</p>			
⑤ 写真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: right; margin-right: 50px;">石神古墳の石室（左）と大岩2号墳（右）</p>			
⑥ 連絡先	大岩区・町教育委員会		

① 分類	自然遺産	② 地域	大淀町大字持尾
③ 名称			
<p style="text-align: center;">みあ いしがき うえ こぼく 見上げれば、石垣の上に ウルシの古木</p>			
④ 説明			
<p>持尾集落の入口に、見上げるような高い石垣。旧川本家の屋敷跡です。その石垣の上には、ウルシ（漆）の古木が立っています。高さは約 10m、目通り周囲は約 2.5mです。このようなウルシの古木は町内でも珍しく注目されます。ウルシ（ウルシ科ウルシ属）は落葉樹で、秋になると葉が真っ赤になります。塗り物（漆器）に使う原料の漆を採るために民家で栽培される事も多く、このウルシの木も、明治時代以前に屋敷の庭先に植えられ、地域の歴史をみつめてきたのでしょうか。</p>			
⑤ 写真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; margin-left: 20px;"> <p>ウルシの古木（右） 旧川本家の石垣（左）</p> </div> </div>			
⑥ 連絡先	町教育委員会		

① 分類	名所遺産	② 地域	大淀町大字下淀
③ 名称			
<p>まんようか おおよど すずがもり 万葉歌と「大淀」のルーツ 鈴ヶ森</p>			
④ 説明			
<p>下淀地区の西部・鈴ヶ森付近では、吉野川が大きく蛇行し、奇岩の下に淀み（淵）をつくり、ゆったりと流れています。ここは街道をつなぐ渡し場であったと伝え、奈良時代の『万葉集』にも歌われた「大（川）淀」の候補地で、町名「大淀」のルーツとなっています（「今しくは見めやと念（おもい）し三芳野の大川よどを今日見つるかも」巻7-1103）。川淀を見下ろす鈴ヶ森の木陰には、平成5年（1993）11月、万葉学者・犬養孝さん揮毫の万葉歌碑がたてられています。</p>			
⑤ 写真			
			
<p style="text-align: center;">下淀・鈴ヶ森にたつ「大川淀」の万葉歌碑</p>			
⑥ 連絡先	町教育委員会		

① 分類	もの遺産	② 地域	大淀町大字桧垣本
③ 名称			
<p>ものがたり しゅじんこう しの お俊・伝兵衛の石碑 <small>しゅん でんべえ せきひ</small></p>			
④ 説明			
<p>土田交差点の西側に並び建つ桧垣本の釈迦・大師堂の前に「お俊伝兵衛 戯曲実説地」と刻んだ高さ0.8mの石碑があります。お俊・伝兵衛は、京都の心中事件を題材にした戯曲「近頃河原達引（ちかごろかわらのたてひき）」の主人公です。講談師・神田伯海らは、明治43・44年（1911・1912）、土田・桧垣本を舞台にした近代戯曲『お俊伝兵衛』を制作。吉野川保勝会と桧垣本区は、昭和初年頃、戯曲の物語の主人公たちを偲んで、ゆかりの地・桧垣本にこの供養碑を建立しました。</p>			
⑤ 写真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <p style="text-align: center;">お俊・伝兵衛の石碑（左） 同正面（中） 同側面（右）</p>			
⑥ 連絡先	町教育委員会		


① 分類	自然遺産	② 地域	大淀町大字土田
③ 名称			
じょうもん うみ き おく つったはちまんじんじゃ じゅそう 縄文の海の記憶 土田八幡神社の樹叢			
④ 説明			
<p>土田地区の氏神は、住宅地のなかに鎮座する土田八幡神社。寛保元年（1741）の記録「鎮守八幡宮縁起」では桧垣本八幡神社の分神と伝えます。鳥居をくぐって境内を散策するとスギ、ケヤキ、ヤブニッケイ、モミなどの高木が見事な樹叢を形成しています。目をうばわれるのは社殿のそばにたつ高さ約 22m、目通り周囲約 4.3mのタブノキの巨樹です。タブノキは海岸近くに多いクスノキ科の暖地性の木。かつて縄文海進の時、海から吉野川を遡ってきたもののなごりかもしれません。</p>			
⑤ 写真			
			
土田八幡神社の樹叢（左からモミ、タブノキ、ヤブニッケイなど）			
⑥ 連絡先	町教育委員会		

① 分類	名所遺産	② 地域	大淀町大字土田（南大和）
③ 名称			
<p style="text-align: center;">げんてん やま かみ へいじょうじんじゃ まちづくりの原点 山の神と平城神社</p>			
④ 説明			
<p>土田地区の南大和ニュータウンは、昭和54年（1979）に街開きがおこなわれました。当時の開発事業主「平城開発」が、その折に新しいまちのシンボルとして、吉野山の吉野神宮から祭神を勧請したのが「平城神社」です。その境内の奥には、この地で古くから祀られていた「山の神」の石碑があり、平城神社の整備にあたり新たな祠が設けられました。古い神と新しい神はこの鎮守の森で、まちづくりの原点として、地域住民の心のよりどころとして、ともに鎮座しています。</p>			
⑤ 写真			
		<p>平城神社の鳥居（左上） 平城神社本殿から南をみる（左下） 平城神社・山の神の祠（右）</p>	
⑥ 連絡先	南大和区		

① 分類	名所遺産	② 地域	大淀町大字越部（高取町高取）
③ 名称			
<p>かわぞ こどう あんさん たき 川沿いの古道をたどって 安産の滝</p>			
④ 説明			
<p>古代遺跡が集中する越部川沿いの道は、壺阪寺（高取町）へ続く「壺坂古道」の一つ。越部川の最上流部は「安佐谷」とも呼ばれ、平安時代の延久2年（1070）頃に興福寺の荘園「田口庄」があった場所です。ここから北側の林道に入ると、3段に分かれて流れ落ちる「安産（安佐）の滝」が出迎えてくれます。一番大きな滝の落差は6.5m。古くから滝行場として知られ安産祈願の名所でもあります。滝からさらに北へ進むと壺阪峠（標高約400m）。壺阪寺・高取城はもうすぐです。</p>			
⑤ 写真			
<p>壺坂古道と「安産の滝」解説板（左） 安産の滝（右）</p> 			
⑥ 連絡先	町教育委員会		

① 分類	民俗遺産	② 地域	大淀町大字比曽
③ 名称			
<p>めいかい 冥界ワンダーランド</p> <p>でぐちじぞうどう じごくえす 出口地蔵堂の地獄絵図</p>			
④ 説明			
<p>比曽地区の南端にある出口集落の地蔵堂では、例年8月24日、地蔵盆の法要がおこなわれる際、石造の地蔵菩薩をまつる堂内に、絵解きに用いられる8幅の地獄絵図がかけられます。一幅ごとに様々な地獄・冥王が描き分けられており、冥界へと旅立つ死者たちがうける地獄の裁判のようすが、細やかにていねいに表現されています。作者や制作年代は不明ですが、描き方から明治時代の作と推定されます。地蔵堂内で繰り広げられた「冥界ワンダーランド」の記憶を物語る絵図です。</p>			
⑤ 写真			
 <p data-bbox="501 1839 1078 1868">出口地蔵堂に伝わる地獄絵図の一部（閻魔王）</p>			
⑥ 連絡先	出口区・町教育委員会		

① 分類	民俗遺産	② 地域	大淀町大字比曾
③ 名称			
<p style="text-align: center;">いの きざ ねん ろくさいねんぶつこうしゅう せきとう 祈りを刻んで400年 六斎念仏講衆の石塔</p>			
④ 説明			
<p>上比曾地区の共同墓地の入口には、東向きに六斎念仏講衆のつくった石塔3基が並んでいます。六斎念仏は、もともと六斎日（仏教で定められた月6回の斎日）に念仏を唱えていたのが民間へひろまり、お盆などの祈念行事となったものです。いずれも天正9年（1581）に造られた祈念碑で、中央に阿弥陀如来、その下に講衆の名が刻まれています。中央に「南無阿弥陀仏」の六字をあらわした石塔（高さ129cm）はとりわけ大型で、その下に23名の講衆の名が刻まれています。</p>			
⑤ 写真			
 <p style="text-align: center;">阿弥陀如来を彫り出した石塔（左・中）と「南無阿弥陀仏」の六字を表した石塔（右）</p>			
⑥ 連絡先	上比曾区・町教育委員会		

① 分類	近現代遺産	② 地域	大淀町大字中増
③ 名称			
<p style="text-align: center;"> インパールからの 帰還 日章旗 </p> <p style="text-align: center; font-size: 0.8em;"> きかん にっしょうき </p>			
④ 説明			
<p>中増地区出身の辰巳善次は、昭和 19 年（1944）2 月、ビルマ方面（現ミャンマー）に出兵。イギリス軍の拠点を攻略するインパール作戦に参加し、同年 6 月、インパール北方のインド・アッサム州サタルマイナで戦死しました。戦地に残された彼の所持品（遺留品）には、出征時に彼へと贈られた、102 名の寄書きで埋め尽くされた日章旗(日の丸の旗)がありました。令和元年(2019)、これを持ち帰ったイギリス兵の子孫の手から、日章旗はふるさとの遺族のもとへ帰還しました。</p>			
⑤ 写真			
<div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">寄書きで埋め尽くされた日章旗（現在は大淀町所蔵）</p>			
⑥ 連絡先	中増区・町教育委員会		

① 分類	もの遺産	② 地域	大淀町内各地
③ 名称			
<p style="text-align: center;"> たびびと おも で こうさてん みちしるべ 旅人たちの思い出をつなぐ 交差点の道標 </p>			
④ 説明			
<p>江戸時代に制札（掲示板）がたっていた交差点を「札（ふだ）の辻」といいます。大淀町内を東西に横断する伊勢南街道沿いには、「札の辻」が2か所（下淵・桧垣本）にありました。いずれも南北の街道との交差点で、行き先を刻んだ道標がありました（桧垣本の「札の辻」の道標は覚栄寺境内に移設）。また、下市街道（車坂越え）と伊勢南街道との交差点（下淵西町）には、今も安永4年（1775）の道標が残ります。交差点の道標は旅人たちの様々な思い出を今につないでいます。</p>			
⑤ 写真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; margin-left: 20px;"> 下淵西町にある安永4年（1775）の道標（右） 桧垣本の「札の辻」にあった道標（左） </div> </div>			
⑥ 連絡先	町教育委員会		

① 分類	景観遺産	② 地域	大淀町内各地
③ 名称			
<p style="text-align: center;">よしのいち こめどころ のうそん げんふうけい おおよどは吉野一の米所 農村の原風景</p>			
④ 説明			
<p>江戸時代から明治時代にかけて、吉野地域でもため池の築造や耕地整理が進み、水田耕作（田んぼ）がひろまっていくなか、大淀町は「吉野一の米所」として知られるようになりました。戦後、町内各地で様々な開発事業が進む一方で、人と自然が共生する場としての「田んぼ」も大切にされてきました。今では米作りの農家も少なくなりましたが、黄金色の稲穂がゆれる農村の原風景に心うばわれる人も多いでしょう。次世代に誇れるまちの貴重な財産といえるのではないのでしょうか。</p>			
⑤ 写真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: right;">実った稲穂と田んぼアート（左と右上・中増） 収穫体験のようす（右下・岩壺）</p>			
⑥ 連絡先	町教育委員会		

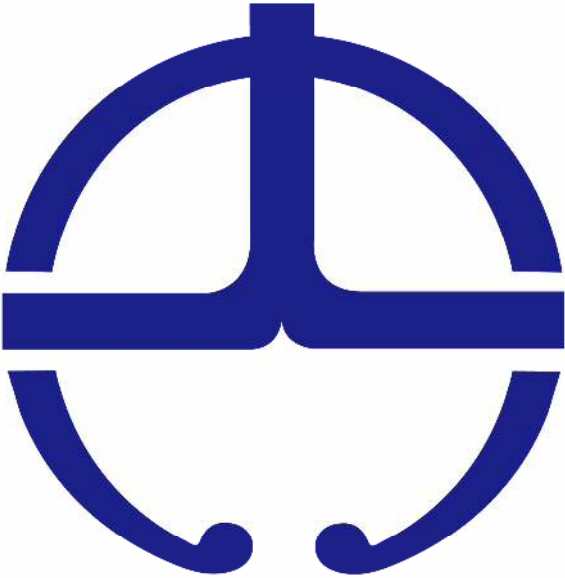
① 分類	近現代遺産	② 地域	大淀町内各地
③ 名称			
せんせい 先生どうもありがとう！ きょういくしゃ 教育者たちのレガシー 記念碑			
④ 説明			
<p>吉野郡内の各村々で、近代的な教育が始まったのは明治時代のこと。各地域の小学校には、多くの生徒を育てあげた先生（教育者）たちがいました。その功績を刻んだ記念碑（顕彰碑・頌徳碑・紀恩碑）は、大淀町内でも中増・北六田・土田・矢走・佐名伝地区などにのこされています。とりわけ、矢走尋常小学校の訓導兼校長だった竹山清文（1867ー1948）は、『大淀村風俗誌』（1918年）を世に送り出すなど、大淀村の歴史をまとめたレジェンド（偉人）としても知られています。</p>			
⑤ 写真			
			
<p>町内各地にのこる教育者たちの記念碑 左・高木鷹山頌徳碑（中増）、中・岸田樞造頌徳碑（北六田）、右・竹山清文紀恩碑（矢走）</p>			
⑥ 連絡先	町教育委員会		

① 分類	景観遺産	② 地域	大淀町内各地
③ 名称			
<p style="text-align: center;">か ふうけい よしのぐんざん 変わらない風景のなかに 吉野群山</p>			
④ 説明			
<p>古代からの聖地として知られる吉野群山は、昭和 11 年（1936）2 月に「吉野・熊野国立公園」として、近畿ではじめての国立公園に指定されました。また、平成 14 年（2004）7 月には、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」にも登録され、後世に残すべき紀伊半島の遺産として、多くの人々に知られています。大淀町内各地からはパノラマで、南方につらなる秀麗な吉野群山を眺めることができます。この風景は、いつまでも変わらない大淀町の魅力的な景観といえるでしょう。</p>			
⑤ 写真			
			
<p style="text-align: center;">下淀・香梨台（こうりだい）からみた吉野群山</p>			
⑥ 連絡先	町教育委員会		

① 分類	景観遺産	② 地域	大淀町内各地
③ 名称			
<p style="text-align: center;">しきおりおり いろど よしのがわ 四季折々の彩り 吉野川</p>			
④ 説明			
<p>大淀町の南側を滔々（とうとう）と流れる吉野川（紀の川）。川にかかる橋の上からは、上流の名峯・高見山からのぼる朝日と、下流に沈んでいく真紅の夕日を見ることができます。秋の到来を告げるのは、河川敷に群落をつくり、銀色の穂を風になびかせるオギ（イネ科ススキ属）です。早春には、ネコヤナギ（ヤナギ科ヤナギ属）の愛らしい花穂が川辺におどります。四季折々の彩りをもつ吉野川の風景は、いつまでも飽きることのない、大淀町にとってかけがえのない景観遺産です。</p>			
⑤ 写真			
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>春・佐名伝の川原に芽吹くネコヤナギ（左上）</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>夏・越部の椿橋から上流を望む（右上）</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>秋・増口の川原にひろがるオギ（左下）</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>冬・柳の渡しからみた夕景（右下）</p> </div> </div>			
⑥ 連絡先	町教育委員会		

① 分類	近現代遺産	② 地域	大淀町内各地
③ 名称			
<p style="text-align: center;"> <small>おおよどちょうし</small> 『大淀町史』をつくる </p> <p style="text-align: center;"> <small>ちょうしへんさん きろく</small> 町史編纂の記録 </p>			
④ 説明			
<p>大淀町ができて50周年を迎えた昭和45年（1970）の秋、町ではじめての「自治体史（じちたいし）」をつくるため、町史編纂事業が本格的にスタートしました。そして、大勢の関係者の努力がみのり、昭和48年（1973）年2月に刊行されたのが『大淀町史』です。この自治体史の編纂にともない、町内各地のようすが、文書、写真、映像によって克明に記録されました。今では、1970年代のまちの風景、人々の暮らしぶりがうかがえる、たいへん貴重な記録となっています。</p>			
⑤ 写真			
			
<p style="text-align: center;">町制施行50周年記念行事・花車パレードの記録写真（下淵・下市口駅前商店街）</p>			
⑥ 連絡先	町総務課・町教育委員会		

① 分類	わざ遺産	② 地域	大淀町内各地
③ 名称			
<p>オールスターが大集合 <small>だいしゅうごう</small> みんなで大淀おどり <small>おおよど</small></p>			
④ 説明			
<p>昭和41年（1966）、大淀町の町制施行45周年にあわせて「大淀おどり」という歌が作られました（徳山泰盛さん作詞・作曲、石平三郎さん編曲）。その歌詞のなかには、むつだの淀（北六田）、筆捨岩と弘法大師（佐名伝）、千石橋（下渚）、下渚遺跡（下渚・桜ヶ丘）、芦原トンネル、お茶と梨、紀州陣屋（越部）など、まちを代表するオールスターがちりばめられています。音頭にあわせて踊るふるさと・おおよどの定番曲として、「大淀おどり」は今も多くの人々に歌い継がれています。</p>			
⑤ 写真			
			
<p>町制施行50周年記念行事（大淀緑ヶ丘小学校校庭）で披露された「大淀おどり」のようす</p>			
⑥ 連絡先	町教育委員会		

① 分類	近現代遺産	② 地域	大淀町
③ 名称			
<p>おおよどのシンボルマーク <small>おおよどちょうしょう</small> 大淀町章</p>			
④ 説明			
<p>昭和37年（1962）、長年の計画だった大淀町章が定められました（初代の町章）。その後、昭和41年（1966）の町制施行45周年にあわせて、現在の町章（2代目）が定められています。その全形は、環（わ）をイメージした漢字の「大」と、吉野川の水滴を図案化したものですが、天地をひっくり返してみると…「OYODO」のアルファベット「O」「Y」がアレンジされていることもわかります。50数年前にできたまちのシンボルマークから、いろいろな想いがよみとれます。</p>			
⑤ 写真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> <p>大淀町章（1966年制定）</p> </div> </div>			
⑥ 連絡先	町教育委員会		

2016～2019年度おおよど遺産リスト

No.	名 称	分 類	地 域	選定年月日	備 考
1	オカリヤをたてる 御霊神社の秋祭	民俗遺産	佐名伝	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
2	潮の香りと弥生人の記憶 佐名伝銅鐸	もの遺産	佐名伝	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
3	梨の花香る里山 大阿太高原	景観遺産	佐名伝・薬水	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
4	大正浪漫のタイムトンネル 薬水門	近現代遺産	薬水	2017年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
5	薬水の由来 弘法井戸	名所遺産	薬水	2017年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
6	おおみそかの送り火 牛と馬のトンド	民俗遺産	今木	2017年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
7	天まであがれ 大岩のトンド	民俗遺産	大岩	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
8	アメタンモレの伝承 大日如来と大岩神社の神像	もの遺産	大岩	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
9	蓮のつぼみを抱えた大日如来	もの遺産	岩壺	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
10	ワッタイヨーで強くなれ 子ども相撲	民俗遺産	岩壺	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
11	村の庄屋の物語 迎居家の文化遺産	もの遺産	持尾	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
12	お正月の風物詩 カンジョウカケ	民俗遺産	畑屋	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
13	忠臣小金吾 伝説をものがたる石塔	名所遺産	桧垣本	2017年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
14	能楽お囃子のふるさと 桧垣本八幡神社	名所遺産	桧垣本	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
15	張子の仏に願いを込めて 桧垣本釈迦堂	名所遺産	桧垣本	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
16	安佐寺ゆかりの仏たち 馬佐薬師堂	名所遺産	馬佐	2017年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
17	吉野最大級 北六田の木造倉庫群	近現代遺産	北六田	2017年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
18	ふるさとを見守る ムクノキの巨樹	自然遺産	比曾	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
19	子どもに恵まれますように 上比曾のいのこ	民俗遺産	比曾	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
20	椿井の杜の鎮守さま 水分神社	名所遺産	増口	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分

2016～2019年度おおよど遺産リスト

No.	名 称	分 類	地 域	選定年月日	備 考
21	ほとけの心とやさしい言葉 花岡大学の童話作品	もの遺産	佐名伝	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
22	氏神さんに祈る日々 戦勝祈願の絵馬	近現代遺産	薬水	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
23	こもればはふるさとの灯 車坂古道	名所遺産	今木・下湊	2018年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
24	近代化を支えた和漢薬 大岩の薬業遺産	近現代遺産	大岩	2018年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
25	古風な宮座の神事 天髪王神社のトヤワタシ	民俗遺産	矢走	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
26	オンリーワン!の狛犬 天髪神社	名所遺産	持尾	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
27	鐘の音色は姫の声 正覚寺の梵鐘	もの遺産	芦原	2018年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
28	500年続く龍神さまの記憶 畑屋の湯釜	もの遺産	畑屋	2018年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
29	うったきさんへ牛つれて 牛滝まつり	民俗遺産	馬佐	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
30	みこしに乗って夏祭り 水神祭	民俗遺産	下湊	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
31	弥生人が入っています 常門遺跡の壺	もの遺産	越部	2018年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
32	のぞいてびっくり 槇ヶ峯の古墳群	名所遺産	新野	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
33	北六田創村物語 毘沙門講の古文書	もの遺産	北六田	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
34	吉野の原風景がみえる 岸田日出男の遺したもの	近現代遺産	北六田	2018年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
35	伊勢と和歌山をつなぐ道 伊勢南街道のまちなみ	景観遺産	増口	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
36	あの山のむこうに伊勢がある 高見地蔵	名所遺産	西増	2018年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
37	お伊勢さんのおかげです おかげ灯籠	民俗遺産	中増	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
38	目で見る阿弥陀さんの世界 観経曼荼羅	もの遺産	中増	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
39	受け継がれる伝統の技と志 茶の里・増	わざ・景観遺産	中増・増口	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
40	弘法大師も筆を投げたり 筆捨岩	自然遺産	佐名伝	2019年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分

2016～2019年度おおよど遺産リスト

No.	名 称	分 類	地 域	選定年月日	備 考
41	蔵王権現を守り伝える 今木権現堂と安養寺	名所遺産	今木・中増	2019年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
42	建皇子の物語 保久良古墳と女帝の歌碑	名所遺産	今木	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
43	洞川から吉野口へ 大峯索道の遺産	近現代遺産	今木・大岩	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
44	愛宕山から矢がはしる 矢走城跡	名所遺産	矢走	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
45	後世に伝えたい 安政の大地震の記録	もの遺産	矢走	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
46	壺阪寺へ続く道 畑屋と北野の道標	名所遺産	畑屋・北野	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
47	美しすぎる観音さん 観音寺	名所遺産	桧垣本	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
48	さくらが丘の風ひかる 巨樹と桜の並木道	景観遺産	下湊	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
49	「一の行場」の大五輪塔 石塚遺跡	名所遺産	下湊	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
50	蓮如、吉野で人生を詠う 光明寺	名所遺産	下湊	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
51	時代をこえて 下市口の風景	近現代遺産	下湊	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
52	舟から橋へ 三つの渡しと近代橋	景観遺産	下湊・越部・北六田	2019年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
53	吉野の水よ清らかに ケヤキと水取り神事	自然・民俗遺産	土田	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
54	梨木仏と「岡堂」の伝承 越部古墳	名所遺産	越部	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
55	太子信仰の遺産 世尊寺太子堂とおたいっさん	名所・民俗遺産	比曾	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
56	蘭学のDNA 前田家文書	もの遺産	西増	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
57	アイデア野菜でツクリモノ 西増・増口の地蔵盆	民俗遺産	西増・増口	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
58	あかい石が支えた地域産業 比曾石	もの遺産	大淀町内各地	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
59	ふるさとの智慧と味 柿の葉ずしを作ろう	わざ遺産	大淀町内各地	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
60	語り継がれる秘話 龍門騒動の記憶	もの遺産	大淀町内各地	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分

2016～2019年度おおよど遺産リスト

No.	名 称	分 類	地 域	選定年月日	備 考
61	吉野の水を国中へ 吉野川分水	近現代遺産	今木・下湊	2020年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
62	ススキ提灯で心一つに 甲神社の秋祭り	民俗遺産	今木	2020年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
63	心にのこそう 山村の原風景	景観遺産	鉾立・持尾	2020年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
64	水の神、時々、幸福の女神 弁天さん	名所遺産	岩壺・馬佐	2020年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
65	のこされた街道の記憶 芦原峠	名所遺産	芦原	2020年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
66	のこされた戦争の記憶 忠魂碑	近現代遺産	下湊	2020年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
67	下市口にて 安西冬衛の詩碑	もの遺産	下湊	2020年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
68	農を支えた水利システム 桧垣本村の古絵図	もの遺産	桧垣本	2020年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
69	ここで旗を振った 桧垣本のオシ塚	民俗遺産	桧垣本	2020年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
70	プレイバック昭和 福田惇の記録映像	近現代遺産	土田	2020年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
71	この一本がのこった カヤの巨樹	自然遺産	畑屋	2020年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
72	奥越部に忌部の里 太玉神社	名所遺産	越部	2020年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
73	世々に時を告げながら 長胴太鼓	もの遺産	新野	2020年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
74	吉野の近代化を下支え 活版印刷の道具	もの遺産	新野	2020年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
75	日本古来の伝統的な技 金箔貼り・金箔振り	わざ遺産	新野	2020年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
76	氏神さんはお産の女神 新野八幡神社	名所遺産	新野	2020年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
77	花と緑に包まれて 世尊寺の花木	自然遺産	比曾	2020年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
78	縁起絵巻は物語る 放光仏	もの遺産	比曾	2020年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
79	大淀町の名付け親 大北作治郎の遺産	近現代遺産	増口	2020年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
80	線路は続くよいつまでも 吉野鉄道の遺産	近現代遺産	大淀町内各地	2020年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分

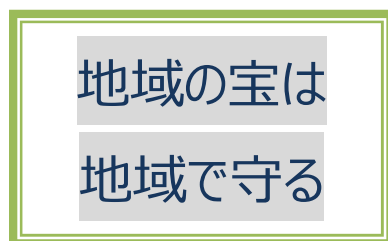
このパンフレットを手にとっていたいただいた皆様へ

大淀町では、2016年度に策定した、「大淀町地域遺産保存・活用制度」実施要綱にもとづき、町内各地域にのこされた様々な遺産（地域遺産）のなかから、とりわけ魅力あるストーリー（物語）をもつものを、有形・無形を問わず「おおよど遺産」として選定し、地域住民と行政が協働でおこなう保存・活用を目指しています。

このパンフレットでは、大淀町が町内各区・自治会の推薦をうけ、大淀町地域遺産会議での審議等をへて、2020年度に選定した20件の「おおよど遺産」を紹介しています。

「おおよど遺産」は、大淀町内各地の歴史・文化を特徴づけるとともに、地域住民の心のよりどころとして、また、大淀町を訪れる人々にも、地域に愛着を感じていただくきっかけとして、そして、地域文化を持続させ、次世代へとつなぐ記憶のバトンとして活かされることが大いに期待されるものです。

これからも、大淀町が推進する、「おおよど遺産」を活かした地域文化の保存・継承と活性化事業に、皆様のご理解とご協力をたまわりますよう、お願いいたします。



<大淀町地域遺産保存・活用事業>

編集・製作 大淀町・大淀町教育委員会

2021年3月

〒638-0812 奈良県吉野郡大淀町桧垣本 2090 番地

大淀町地域遺産会議事務局（大淀町教育委員会）

電話：0747-54-2110 ファックス：0747-54-2112